



R コマンド

この章では、コマンド名が R で始まる Cisco NX-OS システム管理コマンドについて説明します。

rate-limit

指定した SPAN セッションのイーサネット スイッチド ポート アナライザ (SPAN) パケットのソース レート制限を設定するには、**rate-limit** コマンドを使用します。レート制限の設定を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
rate-limit {auto | 1-100}
```

```
no rate-limit
```

構文の説明

auto	次のように、自動的にギガバイト単位でレート制限を計算します：宛先帯域幅/合計送信元帯域幅。
1 ~ 100	ライン カードの各転送エンジンから送信できる SPAN パケットの最大レートのパーセンテージを指定します。指定できる範囲は 1 ~ 100 です。

デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

モニタ コンフィギュレーション (config-monitor)

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
5.2(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

MTU の切り捨てと SPAN のレート制限は、同じ SPAN セッションでイネーブルにできません。1 セッションで両方を設定した場合、レート制限の設定をディセーブルにするまで、レート制限だけが F1 シリーズ モジュールで許可され、MTU 切り捨てがディセーブルになります。



(注)

SPAN のレート制限は、F1 シリーズ モジュールおよび F2 シリーズ モジュールだけでサポートされています。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、指定した SPAN セッションの SPAN パケットのレート制限を設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# monitor session 3
switch(config-monitor)# rate-limit 30
```

```
switch(config-monitor)#
```

次に、指定した SPAN セッションの SPAN パケットのレート制限設定を削除する例を示します。

```
switch# configure terminal  
switch(config)# monitor session 3  
switch(config-monitor)# no rate-limit
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor session	SPAN セッションを設定するため、モニタ コンフィギュレーション モードを開始します。
show monitor session	SPAN セッションのステータスを表示します。

record

NetFlow モニタで使用するフロー レコードを指定するには、**record** コマンドを使用します。レコードを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

record *name*

no record [*name*]

構文の説明

name 既存の NetFlow レコードの名前。

デフォルト

なし

コマンド モード

NetFlow モニタ コンフィギュレーション (config-flow-record)

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

正しい Virtual Device Context (VDC; 仮想デバイス コンテキスト) を使用していることを確認します。VDC の変更は **switchto vdc** コマンドを使用します。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、NetFlow モニタで使用する NetFlow レコードを指定する例を示します。

```
switch(config)# switch(config)# flow monitor newflow1
switch(config-flow-monitor)# description recordflow
switch(config-flow-monitor)# record netflow ipv6 original-input
switch(config-flow-monitor)#
```

次に、NetFlow モニタからレコードを削除する例を示します。

```
switch(config-flow-record)# no record netflow ipv4 original-input
switch(config-flow-record)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show flow sw-monitor	NetFlow モニタに関する情報を表示します。

record netflow

NetFlow モニタで従来のレイヤ 2 レコードを選択するには、**record netflow** コマンドを使用します。レコードの選択を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

record netflow layer2-switched input

no record netflow layer2-switched input

構文の説明	layer2-switched 従来のレイヤ 2 NetFlow 収集スキームを指定します。						
	input 入力 NetFlow を指定します。						
デフォルト	なし						
コマンドモード	NetFlow モニタ コンフィギュレーション						
サポートされるユーザロール	network-admin vdc-admin						
コマンド履歴	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">リリース</th> <th style="text-align: left;">変更箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.0</td> <td>このコマンドが追加されました。</td> </tr> </tbody> </table>	リリース	変更箇所	4.0	このコマンドが追加されました。		
リリース	変更箇所						
4.0	このコマンドが追加されました。						
使用上のガイドライン	このコマンドには、ライセンスは必要ありません。						
例	<p>次に、NetFlow モニタで従来のレイヤ 2 レコードを選択する例を示します。</p> <pre>switch(config)# flow monitor FLOWMonitor1 switch(config-flow-monitor)# record netflow layer2-switched input switch(config-flow-monitor)#</pre> <p>次に、NetFlow レコードの選択から従来のレイヤ 2 を削除する例を示します。</p> <pre>switch(config-flow-monitor)# no record netflow layer2-switched input switch(config-flow-monitor)#</pre>						
関連コマンド	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">コマンド</th> <th style="text-align: left;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>record</td> <td>NetFlow モニタで使用するフロー レコードを指定します。</td> </tr> <tr> <td>record netflow-original</td> <td>入力 IPv4 レコードを指定します。</td> </tr> </tbody> </table>	コマンド	説明	record	NetFlow モニタで使用するフロー レコードを指定します。	record netflow-original	入力 IPv4 レコードを指定します。
コマンド	説明						
record	NetFlow モニタで使用するフロー レコードを指定します。						
record netflow-original	入力 IPv4 レコードを指定します。						

record netflow ipv4

NetFlow モニタに IPv4 レコードを選択するには、**record netflow ipv4** コマンドを使用します。レコードの選択を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

record netflow ipv4 {original-input | original-output | protocol-port}

no record netflow ipv4 {original-input | original-output | protocol-port}

構文の説明

original-input	従来の IPv4 入力 NetFlow を指定します。
original-output	従来の IPv4 出力 NetFlow を指定します。
protocol-port	プロトコルおよびポート集計方式を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

NetFlow モニタ コンフィギュレーション (config-flow-monitor)

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、NetFlow モニタに NetFlow IPv4 レコードを選択する例を示します。

```
switch(config)# switch(config)# flow monitor newflow1
switch(config-flow-monitor)# description recordflow
switch(config-flow-monitor)# record netflow ipv4 original-input
switch(config-flow-monitor)#
```

次に、NetFlow IPv4 レコードの選択を削除する例を示します。

```
switch(config-flow-monitor)# no record netflow ipv4 original-input
```

関連コマンド

コマンド	説明
show flow sw-monitor	NetFlow モニタに関する情報を表示します。

record netflow ipv6

NetFlow モニタに NetFlow IPv6 レコードを選択するには、**record netflow ipv6** コマンドを使用します。レコードの選択を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

record netflow ipv6 {original-input | original-output | protocol-port}

no record netflow ipv6 {original-input | original-output | protocol-port}

構文の説明

original-input	従来の IPv6 入力 NetFlow を指定します。
original-output	従来の IPv6 出力 NetFlow を指定します。
protocol-port	プロトコルおよびポート集計方式を指定します。

デフォルト

なし

コマンドモード

NetFlow モニタ コンフィギュレーション (config-flow-monitor)

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(3)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、NetFlow モニタに NetFlow IPv6 レコードを選択する例を示します。

```
switch(config)# flow monitor Custom-NetFlow-Record-1
switch(config-flow-monitor)# record netflow ipv6 original-input
```

次に、NetFlow IPv6 レコードの選択を削除する例を示します。

```
switch(config-flow-monitor)# no record netflow ipv6 original-input
switch(config-flow-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show flow sw-monitor	NetFlow モニタに関する情報を表示します。

record netflow-original

入力 IPv4 レコードを選択するには、**record netflow-original** コマンドを使用します。レコードの選択を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

record netflow-original

no record netflow-original

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

NetFlow モニタ コンフィギュレーション (config-flow-monitor)

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、IPv4 入力レコードを選択する例を示します。

```
switch(config)# flow monitor Custom-NetFlow-Monitor-1
switch(config-flow-monitor)# record netflow-original
switch(config-flow-monitor)#
```

次に、レコードの選択を削除する例を示します。

```
switch(config-flow-monitor)# no record netflow-original
switch(config-flow-monitor)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show flow sw-monitor	NetFlow モニタに関する情報を表示します。

remote-span

リモートイーサネットスイッチドポートアナライザ (RSPAN) VLAN を SPAN セッションの送信元として指定するには、**remote-span** コマンドを使用します。SPAN セッションソースとしての RSPAN VLAN を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

remote-span

no remote-span

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンドモード

VLAN コンフィギュレーション (config-vlan)

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、RSPAN VLAN を SPAN セッションソースとして設定する例を示します。

```
switch(config)# vlan 100  
switch(config-vlan)# remote-span
```

次に、RSPAN VLAN 設定を削除する例を示します。

```
switch(config-vlan)# no remote-span  
switch(config-vlan)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
monitor session	モニタ コンフィギュレーション モードを開始します。

rmon alarm

32 ビット Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング) アラームを設定するには、**rmon alarm** コマンドを使用します。RMON アラームを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

rmon alarm *alarm number* *mib-object* *sample-interval* {**absolute** | **delta**} **rising-threshold** *value* [*rising-event*] **falling-threshold** *value* [*falling-event*] [**owner** *alarm-owner*]

no rmon alarm *alarm-number*

構文の説明

<i>alarm number</i>	RMON アラーム番号。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。
<i>mib-object</i>	モニタする MIB オブジェクト。最大長は 80 文字です。
<i>sample-interval</i>	秒単位のサンプリング間隔。指定できる範囲は 1 ～ 2147483647 です。
absolute	各サンプルを直接テストします。
delta	現在のサンプルと前回のサンプルの差分 (デルタ) をテストします。
rising-threshold <i>value</i>	上昇しきい値を指定します。範囲は 2147483648 ～ 2147483647 です。
<i>rising-event</i>	(任意) 下限しきい値を上回ったときにトリガーするイベント。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。イベントを省略すると、イベント 0 が使用されます。
falling-threshold <i>value</i>	下限しきい値を指定します。範囲は 2147483648 ～ 2147483647 です。
<i>falling-event</i>	(任意) 下限しきい値を下回ったときにトリガーするイベント。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。イベントを省略すると、イベント 0 が使用されます。
owner <i>alarm</i> <i>owner</i>	(任意) アラームのオーナーを指定します。最大長は 80 文字です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、OID 1.3.6.1.2.1.2.2.1.14 に 32 ビットのアラーム番号 20 を設定する例を示します。サンプリング間隔は 30 秒で、差分テストを実行します。上昇しきい値はサンプリング間隔あたり 15 エラーです。このしきい値に達するとイベント 1 がトリガーされます。下限しきい値はサンプリング間隔あたり 0 エラーです。このしきい値に達するとイベント 0 (アクションなし) がトリガーされます。

```
switch# config terminal
switch(config)# rmon alarm 20 1.3.6.1.2.1.2.2.1.14.16777216 30 delta rising-threshold 15 1
falling-threshold 0 owner cisco

switch(config)# no rmon alarm 20 1.3.6.1.2.1.2.2.1.14.16777216 30 delta rising-threshold
15 1 falling-threshold 0 owner cisco
```

関連コマンド

コマンド	説明
rmon event	RMON イベントを設定します。
rmon hcalarm	64 ビット RMON アラームを設定します。
show rmon	RMON 設定およびログ記録情報を表示します。

rmon event

RMON イベントを設定するには、**rmon event** コマンドを使用します。RMON イベントを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
rmon event event-number [description text] [log] [trap community-string] [owner
owner-name]
```

```
no rmon event event-number
```

構文の説明

event-number	RMON イベント番号。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。
description text	(任意) イベントの記述を指定します。最大長は 80 文字です。
log	(任意) イベントがアラームによってトリガーされた場合、オンボード RMON ログに RMON ログ エントリを生成します。
trap community-string	(任意) イベントがアラームによってトリガーされた場合、指定のコミュニティ名で Simple Network Management Protocol (SNMP; 簡易ネットワーク管理プロトコル) トラップを生成します。最大長は 32 文字です。
owner owner-name	(任意) アラームのオーナーを指定します。最大長は 80 文字です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドで作成したイベントは、**rmon alarm** または **rmon hcalarm** コマンドを使用して設定したアラームによってトリガーできます。

イベントは **rmon alarm** (32 ビット) および **hcalarm** (64 ビット) コマンドの両方で使用できます。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、オンボード RMON ログに記録して、パブリック コミュニティ トラップ宛てに SNMP トラップを送信するように、RMON イベント 2 を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# rmon event 2 log trap public description CriticalErrors owner cisco
switch#
```

関連コマンド

コマンド	説明
rmon alarm	32 ビット RMON アラームを設定します。
rmon hcalarm	64 ビット RMON アラームを設定します。
show rmon	RMON 設定およびロギング情報を表示します。

rmon hcalarm

64 ビット Remote Monitoring (RMON; リモート モニタリング) 高容量アラーム (hcalarm) を設定するには、**rmon hcalarm** コマンドを使用します。rmon hcalarm を削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
rmon hcalarm alarm-number mib-object sample-interval {absolute | delta}
  {rising-threshold-high value rising-threshold-low value [rising-event]
  [falling-threshold-high value falling-threshold-low value [falling-event]]} [owner
  alarm-owner]
```

```
no rmon hcalarm alarm-number
```

構文の説明

<i>alarm-number</i>	RMON hcalarm 番号。有効な範囲は 1 ～ 65535 です。
<i>mib-object</i>	モニタする MIB オブジェクト。最大長は 80 文字の英数字です。
<i>sample-interval</i>	秒単位のサンプリング間隔。範囲は 1 ～ 700000 です。
absolute	各サンプルを直接テストします。
delta	現在のサンプルと前回のサンプルの差分 (デルタ) をテストします。
rising-threshold-high <i>value</i>	64 ビット上昇しきい値の上位 32 ビットを設定します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
rising-threshold-low <i>value</i>	64 ビット上昇しきい値の下位 32 ビットを設定します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<i>rising-event</i>	(任意) 上昇しきい値を超えたときにトリガーするイベント。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。
falling-threshold-high <i>value</i>	64 ビット下限しきい値の上位 32 ビットを設定します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
falling-threshold-low <i>value</i>	64 ビット下限しきい値の下位 32 ビットを設定します。指定できる範囲は 0 ～ 4294967295 です。
<i>falling-event</i>	(任意) 下限しきい値を下回ったときにトリガーするイベント。指定できる範囲は 0 ～ 65535 です。
owner <i>alarm-owner</i>	(任意) アラームのオーナーを指定します。最大サイズは 80 文字です。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

イベント番号 0 は、定義済みのヌル（または操作なし）イベントです。ユーザがアラーム内でイベントを指定しないと、このイベントが自動的にシステムによって使用されます。このイベントはトリガーされても何もアクションを実行しませんが、アラームはリセットされます。ユーザはこのイベントを再定義できません。これは事前定義のイベントです。

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、RMON 高容量アラームを設定する例を示します。

```
switch# config terminal

switch(config)# rmon hcalarm 2 1.3.6.1.2.1.31.1.1.1.6.22544384 30 delta
rising-threshold-high 55 rising-threshold-low 3776798720 4 falling-threshold-high 41
falling-threshold-low 3906340864 owner cisco
```

関連コマンド

コマンド	説明
rmon alarm	32 ビット RMON アラームを設定します。
rmon hcalarm	64 ビット RMON アラームを設定します。
show rmon	RMON 設定およびロギング情報を表示します。

role distribute

Cisco Fabric Services (CFS) のロール設定の配布をイネーブルにするには、**role distribute** コマンドを使用します。

role distribute

構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

デフォルト

なし

コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザ ロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.1(2)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、CFS のロール設定の配布をイネーブルにし、ステータスを表示する例を示します。

```
switch(config)# role distribute
switch(config)# show role status
Distribution: Enabled
Session State: Unlocked
```

関連コマンド

コマンド	説明
show application_name status	アプリケーションで CFS 配信をイネーブルにするかどうかを含め、指定されたアプリケーションのステータスを表示します。

rollback running-config checkpoint

設定済みチェックポイント ファイルのロールバックを実装するには、**rollback running-config checkpoint** コマンドを使用します。

rollback running-config checkpoint *name* [**atomic** | **best-effort** | **stop-at-first-failure**]

構文の説明

<i>name</i>	チェックポイントの名前。
atomic	(任意) エラーが発生しない場合のみロールバックを実装します。
best-effort	(任意) ロールバックを実装し、エラーが発生した場合はスキップします。
stop-at-first-failure	(任意) エラーが発生したら中止するロールバックを実装します。

デフォルト

なし

コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション

サポートされるユーザロール

network-admin
vdc-admin

コマンド履歴

リリース	変更箇所
4.0(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

このコマンドには、ライセンスは必要ありません。

例

次に、設定済みチェックポイント ファイルのロールバックを実装する例を示します。

```
switch# rollback running-config checkpoint user-checkpoint-1 atomic
Note: Applying config parallelly may fail Rollback verification
Collecting Running-Config
Generating Rollback Patch
Executing Rollback Patch
Generating Running-config for verification
Generating Patch for verification
switch(config)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
show diff	ロールバックする側とされる側のファイルの違いを表示します。
rollback-patch	

